

# 仕 様 書

調達物品の名称 及び数量	医用画像管理システム（PACS）一式
納期	2026 年 3 月 31 日
納入場所	〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 5 番 2 号 公益財団法人放射線影響研究所 A 棟-122B, 123 号 TEL:082-261-3131 FAX:082-261-3135
項 目	要 求 仕 様
1. DICOM サーバ	<p>1.1 現在使用しているサーバ(FUJI SPINE-2)には、非可逆的圧縮を含め、可逆的圧縮された約 87 万画像が保存されているが、これらの医療画像情報が正確に移行でき、非可逆的圧縮された画像も読影可能な状態で保存できること。</p> <p>1.2 画像格納領域は可逆的圧縮後 5TB 以上であること。</p> <p>1.3 サーバに用いるハードディスクは RAID-5、RAID-6 等の構成により医療画像のバックアップができること。</p> <p>1.4 フィルムプリンター、DR(FUJI FPD 装置- Console ADVANCE)、CR(FUJI- Console ADVANCE)、超音波画像診断装置 2 台(GE LOGIQ S8、CANON Aplio i700)に接続可能なこと。</p> <p>1.5 導入前に各装置の画像が読込・読出可能か動作確認すること。</p> <p>1.6 DR(FUJI FPD 装置- Console ADVANCE)、CR (FUJI- Console ADVANCE)、超音波画像診断装置 2 台(GE LOGIQ S8、CANON Aplio i700)の DICOM データの保存が 3.13 の「2 点間距離、2 線間角度及びポイント計測値を計測できること」に対応できるものであること。</p> <p>1.7 瞬断等に対応できるよう無停電電源装置を有し、長時間の停電対策として、UPS からサーバに対して自動的にシャットダウンが行われること。</p>
2. DICOM サーバ附属 画像参照用端末	<p>2.1 画像参照用端末×2 台で OS は、Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2021 Value 64bit 以上の性能・機能を有すること。</p> <p>2.2 CPU・メモリ等は、医療画像の高速処理に十分対応したものであること。主記憶容量は、8GB 以上であること。</p> <p>2.3 1 台は属性の修正ができ、CD-R/DVD 等のメディアに DICOM 画像データの保存が可能で、データ書き込みの際は画像表示を行うアプリケーションも併せて書き込みが可能であること。</p>

<p>3. 画像参照用モニター</p>	<p>3.1 2メガモニター2面+1メガモニターで1式、2メガモニター2面で1式の合計2式の医療画像読影用高精細カラーモニターを用意すること。(内訳:2メガモニター4面、1メガモニター1面)</p> <p>3.2 2メガモニターは、解像度(あるいは表示画素数)は1600×1200以上であること。</p> <p>3.3 2メガモニター1メガモニターともにDICOM Part14に準拠していること。</p> <p>3.4 同一者の2つ以上の検査画像が比較表示できること。</p> <p>3.5 マウス操作にて、ウインドウ・レベルの切り替えができること。</p> <p>3.6 マウス操作にて任意の拡大率に画像が拡大できること。</p> <p>3.7 マウス操作にて画像のパニングができること。</p> <p>3.8 マウス操作にて、ズーム、虫メガネ、サムネイル、マルチフレーム操作が可能なこと。</p> <p>3.9 画像を上下、左右に反転できること。</p> <p>3.10 画像を白黒反転できること。</p> <p>3.11 画像を90°ごとに回転できること。</p> <p>3.12 胸部画像に置いて心胸郭比を計測できる機能がついていること。</p> <p>3.13 DR(FUJI FPD装置- Console ADVANCE)画像、CR(FUJI- Console ADVANCE)画像、超音波画像(GE LOGIQ S8、CANON Aplio i700)の2点間距離、2線間角度及びポイント計測値を計測できること。</p> <p>3.14 テキスト入力、表示ができること。</p> <p>3.15 キーボードのテンキーにて各部位に適した画像処理を処理する機能を有すること。</p> <p>3.16 PACS、レポート、ドキュメントスキャナーやデジカメ画像等の汎用画像取り込み機能にて発生する各種の画像・レポートデータ情報を一元的に管理し、時系列をはじめとする各種の参照方法を有する機能を有すること。</p> <p>3.17 本システムで運用する画像・レポート・汎用画像を対象に患者単位で、タイムライン表示、サムネイル表示、レイアウト表示、検査リスト表示の表示機能を有すること。</p> <p>3.18 放射線レポートシステム機能と連携し、レポート参照ビューアを起動する機能を有すること。</p>
<p>4. コンバーター</p>	<p>4.1 DICOM→JPEG圧縮し、その画像を当研究所情報技術部のサーバに接続できること。</p> <p>4.2 生成ファイルを当研究所の形式のファイル名にカスタマイズできること。  &lt;受診者ID&gt;&lt;検査日&gt;&lt;画像番号&gt;&lt;撮影メニュー&gt;.jpg  例:012345620250918A001CHEST_GENERAL.jpg</p> <p>4.3 導入前に当研究所担当者と詳細を事前に打ち合わせすること。</p>

5. ノート PC	<p>5.1 OS : Windows 11 Pro 64bit であること。</p> <p>5.2 CPU:メモリ等は、医療画像の高速処理に十分対応したものであること。主記憶容量は、8GB 以上であること。</p> <p>5.3 ウイルスバスターを導入すること。</p>
6. その他	<p>6.1 現在設置している DRYPIX EDGE(フィルムプリンター)に DR(FUJI FPD 装置- Console ADVANCE)、CR(FUJI- Console ADVANCE)、超音波画像診断装置 2 台(GE LOGIQ S8、CANON Aplio i700)が接続可能なこと。</p> <p>6.2 上記すべての接続費、および画像移行費、旧装置の処分費用を含むこと。</p> <p>6.3 導入する全ての装置において動作確認をすること。</p> <p>6.4 相互通信が必要である装置間の接続に関して通信テストを含む動作確認を行うこと。</p> <p>6.5 サーバ等システムの根幹に関わるハードウェアは、24 時間、365 日の保守体制を有すること。</p> <p>6.6 サーバ保守については、故障時の対応修理だけでなく、少なくとも 5 年の定期点検を含む保守ができること。</p> <p>6.7 導入するすべての装置において、本稼働後 1 年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。</p> <p>6.8 当研究所において機器利用予定者を対象とした説明及び操作講習を 2026 年度内に 1 回、無償で実施すること。</p>